【健康科学部 医療福祉学科 社会福祉専攻】カリキュラムマップ（2023年度入学生用）

授与する学位：学士（医療福祉学）		ディプロマ・ポリシー
知識・理解	幅広い視野	DP1：人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している DP2：社会福祉、精神保健福祉分野に関する適切な知識や理解、そして技術を有している DP3：幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる
汎用的能力	基本的能力	DP4：適切な日本語運用力を修得し、活用することができる DP5：母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用することができる DP6：基礎的ICTの知識・スキルを修得し、適切に活用することができる DP7：数的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができる
態度・志向性	豊かな人間性	DP8：仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている DP9：多様性の尊重と共生の精神を有している DP10：日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる
	態度・志向性	DP11：高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができる DP12：社会福祉・精神保健福祉分野の知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる DP13：社会福祉・精神保健福祉分野の知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している
統合的な学習経験と創造的思考力	応用的能力	DP14：自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成をする力を備えている DP15：現代社会の諸問題を解決するために、社会福祉・精神保健福祉分野の知識と技能を活用し、問題解決に実践的に取り組むことができる

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号 ○：DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
包括的ヘルスケア論	包括的な視点で地域・在宅で生活している人々に対する保健・医療・福祉の施策の動向を学ぶ	1. 我が国の少子高齢化に伴う問題を理解する	○								○		○				
		2. 地域包括ケアの理論と制度を学ぶ	○								○		○				
		3. 地域包括的ケアの実際を学ぶ			○							○			○		
生命倫理	人の生命の尊厳と基本的人権、尊厳死などについて学び、言語聴覚士として基本的倫理原則・倫理理論を学ぶ	1. 人としての命の尊厳と基本的権利を対人援助職の視点から理解できる			○					○						○	
		2. 対人援助職として倫理的原則、生命・医療倫理を理解している								○				○		○	
		3. 日常生活の場の問題解決を倫理的判断にもとづいて考察できる			○							○					○
ターミナルケア	ターミナル期の問題を理解し、現状を学んだうえで、いかにターミナル期の患者に向き合うかについて、学修する	1. ターミナル期の患者が抱える問題を理解する								○	○		○				
		2. ホスピス運動や緩和ケアの現在について理解する			○						○		○				
		3. コミュニケーションスキルや死生観（基本的な心構え）などを学ぶ	○							○			○				
専門職の連携（基礎）	医療福祉機関をはじめとした地域の生活者の支援に関わる職種の役割を理解する	1. 取得を目指している資格は、他職種と連携し地域における包括的なヘルスケアシステムを担い、人の命を救う専門職としての資格であることを理解する		○											○		○
		2. 地域における包括的なヘルスケアシステムを担う他の専門職を理解する									○		○	○			
		3. 他職種の視点を通して、将来についてのより明確な自己像を描けるようになる													○	○	○
専門職の連携（応用）	他職種との連携協働の実際を学習する専門職連携に関する発展的な科目であり、実践力のある専門職として就職するための総まとめ的な学習を行う	1. 他職種間での専門的かつ高次なコミュニケーションをはかれるようになる			○						○			○			
		2. 実例を取り上げることで、より具体的で実践的な援助方法を理解する			○									○			○
		3. 専門職としての自己意識を高め、資格取得に向けての意欲向上を目指す			○									○		○	
医療福祉連携論	近年、医療から介護制度を含む福祉へのシームレスな連携が求められている。医療と福祉について理解を深め、それらの連携の実際と理想を学ぶ	1. 医療の実際について理解する			○						○						○
		2. 福祉の実際について理解する			○						○						○
		3. 医療と福祉との連携の実際と理想を理解する			○						○						○
障害者福祉	社会福祉士及び精神保健福祉士として、障害者福祉サービスのこれまでの歴史、社会背景を通じて、現状の障害者福祉の意義と課題について習得できるようにする	1. わが国の障害者に関する歴史と施策に関して理解し、必要な行動がとれる		○										○	○		
		2. 障害者に対する福祉サービスの種類、目的、その効果について理解し専門職を目指す者として活用できる		○											○		○
		3. 障害者福祉サービスと他の福祉サービスと比較し、総合的に理解できる													○		○
子どもと社会福祉	社会の将来を担うのは子ども達だが、昨今では、子どもをめぐる痛ましい事件や数々の社会問題が顕在化している。虐待、貧困、社会的養護、医療的ケアの不足、また保育所の待機児童問題など、課題は山積している。ここでは、社会福祉専攻で学ぶ礎として、子どもと社会福祉に関する基礎事項を実践的に学ぶ	1. 子どもが健全に暮らすために求められることは何かを知る		○							○		○				
		2. 子どもをめぐる社会問題に気づき、その実際を知る		○										○	○		
		3. 子どもの暮らしを支える制度や地域の取り組みを学ぶ		○											○		○
仏教と社会福祉	仏教と社会福祉の関係を考える場合、社会福祉の側面からは、その価値基盤と仏教信仰の調和的関係構築が問題になる。こういった仏教と社会福祉の協働について学ぶ	1. 仏教社会福祉についての基礎的知識を身につける								○	○		○				
		2. 仏教的価値と社会福祉の価値が協働する場面について学ぶ								○			○	○			
		3. 仏教社会福祉実践の実際について学ぶ												○	○		○
基礎演習Ⅰ	20人程度のクラスで、社会福祉の現状、日常生活（体験）等から社会福祉的課題に気付き、社会福祉的なものの考え方や感覚を学ぶ。福祉現場の見学、当事者・家族の話を聴くことで、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験する。またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても基本的な学習を行う	1. 社会福祉の意義と価値について理解する									○		○	○			
		2. 社会福祉専門職の役割について理解する		○										○	○		
		3. 自らの社会福祉的な考え方について検証を行う		○	○									○			
基礎演習Ⅱ	20人程度のクラスで、社会福祉の現状、日常生活（体験）等から社会福祉的課題に気付き、社会福祉的なものの考え方や感覚を学ぶ。福祉現場の見学、当事者・家族の話を聴くことで、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験する。またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても基本的な学習を行う	1. 社会福祉の意義と価値について理解する									○		○	○			
		2. 社会福祉専門職の役割について理解する		○										○	○		
		3. 自らの社会福祉的な考え方について検証を行う		○	○									○			
社会福祉の原理と政策Ⅰ	福祉制度の意義・理念、福祉の原理をめぐる理論・哲学、をふまえ、現代の社会問題の特性について理解できる	1. 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を説明できる。	○		○						○						
		2. 社会福祉の歴史的展開の過程と欧米の比較によって特性を説明できる。	○		○						○						
		3. 社会構造の関係から現代の社会問題について説明できる。	○		○						○						
社会福祉の原理と政策Ⅱ	福祉政策の基本的視点、概念・理念、構成要素、福祉政策とその課題について学び、包括的支援や福祉サービス供給過程について理解できる	1. 福祉政策の基本的視点と概念・理念を説明できる	○		○						○						
		2. 福祉政策の構成要素について説明できる	○		○						○						
		3. 福祉政策と包括的支援について説明できる	○		○						○						
基礎演習Ⅲ	Ⅰ、Ⅱに続いて、社会福祉の現状、日常生活（体験）等から社会福祉的課題に気付き、社会福祉的なものの考え方や感覚を学ぶ。見学やゲストの話しを聞くことで、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても修得する	1. 現代社会の多様な社会福祉の現状と課題について自ら考察する		○	○									○			
		2. 考え、気付いた事柄について適切にまとめ、発表する				○		○	○								
		3. 社会福祉の専門職の役割について、深く考えることができる		○											○		○
基礎演習Ⅳ	Ⅰ、Ⅱに続いて、社会福祉の現状、日常生活（体験）等から社会福祉的課題に気付き、社会福祉的なものの考え方や感覚を学ぶ。見学やゲストの話しを聞くことで、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても修得する	1. 現代社会の多様な社会福祉の現状と課題について自ら考察する		○	○									○			
		2. 考え、気付いた事柄について適切にまとめ、発表する				○		○	○								
		3. 社会福祉の専門職の役割について、深く考えることができる		○											○		○

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号 ○：DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
保健医療と福祉	保健医療の動向、政策、制度、サービスを知り、保健医療領域の社会福祉士の役割と連携や協働について理解する	1. 保健医療の動向を説明できる。			○				○								○
		2.保健医療に係る政策、制度、サービスについて説明できる。		○										○	○		
		3. 保健医療領域の社会福祉士の役割や支援の在り方について説明できる。		○											○		○
精神保健福祉制度論	精神保健福祉法等に関する法制度の概要と課題の理解、制度に規定される精神保健福祉士の役割について理解する。生活保護制度、生活困窮者支援制度に関する精神保健福祉士の役割を理解する。障害者に関する制度とその限界や課題を理解する	1. 精神保健福祉法等に関する法制度の概要と課題の理解、制度に規定される精神保健福祉士の役割について説明できる		○										○	○		
		2. 生活保護制度、生活困窮者支援制度に関する精神保健福祉士の役割について説明できる		○											○		○
		3. 障害者に関する制度とその限界や課題について説明できる		○											○		○
社会福祉専門演習Ⅰ	社会福祉の現実を見聞きすることや、学生の日常生活（体験）等から社会福祉的課題を見つける訓練を中心に、社会福祉的なものの考え方の基本や社会福祉的な感覚を学ぶ。具体的には種々の現場を見学する、現場ワーカーや当事者・家族の話を聴く、ボランティアと交流する、ビデオ教材等を積極的に用いる等の方法を駆使して、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験する。またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても基本的な訓練をする	1. 現代社会における社会福祉の表象について考察する		○	○			○									
		2. 生活の中の社会福祉の役割について様々な現象から検証する		○	○			○									
		3. 現存する社会福祉サービスの機能について検証する		○	○			○									
社会福祉専門演習Ⅱ	社会福祉の現実を見聞きすることや、学生の日常生活（体験）等から社会福祉的課題を見つける訓練を中心に、社会福祉的なものの考え方の基本や社会福祉的な感覚を学ぶ。具体的には種々の現場を見学する、現場ワーカーや当事者・家族の話を聴く、ボランティアと交流する、ビデオ教材等を積極的に用いる等の方法を駆使して、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験する。またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても基本的な訓練をする	1. 現代社会における社会福祉の表象について考察する		○	○			○									
		2. 生活の中の社会福祉の役割について様々な現象から検証する		○	○			○									
		3. 現存する社会福祉サービスの機能について検証する		○	○			○									
医学知識	高齢者、障害者等を支援、援助する際に必要な保健・医療の知識を習得し、心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長や発達、日常生活との関係をも踏まえて理解する	1.人の身体構造と心身機能について説明できる		○													
		2.ライフステージにおける心身の変化と健康・疾病のとらえ方を説明できる		○											○		
		3.疾病と障害の成り立ち、健康課題を解決するための対策について説明できる		○													○
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の意義と目的、について理解する。また調査結果の理解と評価の意義・方法について理解する	1. 社会福祉調査の意義と目的について説明できる		○													
		2. 社会調査には量的調査と質的調査があり、どのような場合にそれを適用することができるかを理解できる		○											○		
		3. 尺度、科学的方法、仮説といった社会調査のための基礎知識が説明できる		○					○								○
ソーシャルワークの基盤と専門職	社会福祉士と精神保健福祉士の役割と意義、ソーシャルワークの考え方と形成過程、価値規範と倫理について理解する	1. 社会福祉士と精神保健福祉士の法的な位置づけについて説明する		○											○		○
		2. ソーシャルワークの基盤となる考え方と形成過程について説明できる		○							○				○		
		3. ソーシャルワークの価値規範と倫理について説明できる		○							○				○		
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲、対象と関連性について理解する。社会福祉士の職域と役割について理解し、総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する	1. 社会福祉士求められる役割について説明できる		○											○		○
		2. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲、対象について説明できる		○											○		○
		3. 総合的かつ包括的な支援と多職種連携ま意義と内容について説明できる		○											○		○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	ソーシャルワークの理論や概念とそれに係る知識と技術について理解する	1. ソーシャルワークの過程とそれに係る知識、技術について説明できる		○											○		○
		2. ソーシャルワークの概念とその展開について説明できる		○											○		○
		3. 人と環境の交互作用について説明できる		○											○		○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	ソーシャルワークの実践モデルとそれぞれのアプローチについて理解できる。ソーシャルワークのスーパービジョンについて理解できる。	1. ソーシャルワークの実践モデルについて説明できる		○											○		○
		2. ソーシャルワークの様々なアプローチについて説明できる		○											○		○
		3. ソーシャルワークのスーパービジョンについて説明できる		○											○		○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	実践的かつ効果的なソーシャルワークの理論と方法を理解する。援助関係の形成やニーズ掘り起しのための知識と技術を理解する	1. 社会福祉士として多様化・複雑化する課題を説明できる		○											○		○
		2. 実践的かつ効果的なソーシャルワークの理論と方法について説明できる		○											○		○
		3. 支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズ掘り起しのための知識と技術について説明できる		○											○		○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	社会資源の活用、開発、ソーシャルアクションについて理解する。事例分析の意義や方法を理解する。	1. 社会資源の活用、開発、ソーシャルアクションについて説明できる		○											○		○
		2. 個別の事例の具体的な解決策および汎用性について説明できる		○											○		○
		3. 事例分析の意義や方法を説明できる		○											○		○
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向を理解する。地域福祉の主体と対象を理解する。地域福祉行政の体制と役割を理解する	1. 地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について説明できる		○										○	○		
		2. 地域福祉の主体と対象について説明できる		○										○	○		
		3. 地域福祉行政の体制と役割について説明できる		○										○	○		
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	福祉計画の意義・目的、展開を理解する。包括的支援体制と多職種連携の意義について理解する。その中での社会福祉士、精神保健福祉士の役割を理解する	1. 福祉計画の意義・目的、展開について説明できる		○										○			○
		2. 包括的支援体制と多職種連携の意義について説明できる		○										○			○
		3. その中での社会福祉士、精神保健福祉士の役割について説明できる		○										○			○
社会福祉専門演習Ⅲ	基礎的な専門的学習及び見学やボランティア活動等で得た知識や見聞・体験あるいは社会福祉的感覚をベースに、10人程度のクラスで、自分の選んだ具体的な社会福祉課題について、総合的でダイナミックな理解を深めることや、それらに対する社会福祉的取り組みの基本的なあり方を学ぶ。そのために個人、或いはグループでのリサーチとプレゼンテーション、そしてクラス全体での積極的なディスカッションやディベートを展開する	1. 基礎的な社会福祉に関する理解を踏まえて、より専門的に社会福祉前派について検証を行う		○	○					○						
		2. 自らの社会福祉分野の関心について、より深く学習を行う		○	○					○						
		3. 卒業論文のテーマとして関連する書籍、資料を検証する		○	○					○						
社会福祉専門演習Ⅳ	１に続き通年実習も経験して、自分の進路を考えつつ卒業研究に取組む最終学年での演習として、コミュニティ福祉と産業福祉という21世紀の社会福祉に相応しい課題の中から自分らしいテーマを選び、演習での活発な討論を重ねながら、自分らしい視点、方法、そして表現で研究を進めていくのがこの演習の課題である	1. 実習を通じて体験した事柄、社会福祉的視点からまとめる		○	○					○						
		2. 自らの社会福祉分野の関心について、より深く学習を行う		○	○					○						
		3. 卒業論文のテーマとして関連する書籍、資料を検証する		○	○					○						
卒業研究	専門演習Ⅱでの活発な討論を重ねながら、担当教員からの個別指導を受けて、論文という形式に限定されることなく、テーマに相応しい自由な表現形式を選択して、4年間の学習成果をまとめ上げる。社会へ飛び立つための自分の原点として、社会で取組む自分の課題と方法を明確にする	1. 関心のある社会的事象を社会福祉的視点から捉える		○	○										○	
		2. 関連する文献や資料を収集し、まとめる		○	○										○	
		3. 論文としてまとめ、プレゼンテーションを行う		○	○										○	
ソーシャルワーク演習	社会福祉士と精神保健福祉士として求められる基礎的な能力について理解する。ソーシャルワークの価値、知識、技術を実践的に理解する。ソーシャルワークに必要なコミュニケーション能力を養う	1. 社会福祉士と精神保健福祉士として求められる基礎的な能力について説明できる		○											○		
		2. ソーシャルワークの価値、知識、技術を実践的できる		○							○		○				
		3. ソーシャルワークに必要なコミュニケーションを実践できる		○										○	○		
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	ソーシャルワークに必要な価値規範を理解し、専門的援助技術を理論化する。	1. ソーシャルワークに必要な知識や技術の統合を説明できる		○											○		○
		2. ソーシャルワークの専門的援助技術を概念化、理論化できる		○													
		3. ソーシャルワークの価値規範について説明できる		○							○				○		

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号 ○：DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
社会保障Ⅰ	日本の社会保障制度と年金保険・医療保険の概略を理解できる	1. 日本の社会保障制度の概略を理解できる		○													○
		2. 年金保険と医療保険の仕組みを説明できる		○													○
		3. 外国の制度と比較して、問題点を指摘できる		○													○
社会保障Ⅱ	日本の社会保障制度としての雇用保険・労災保険・介護保険を理解できる	1. 雇用保険・労災保険の制度を理解できる		○													○
		2. 介護保険と高齢者の生活を説明できる		○													○
		3. 外国の制度と比較して問題点を指摘できる		○													○
高齢者福祉	高齢者の特徴をふまえ、高齢者とその家族を取り巻く社会環境について理解する。高齢者福祉の歴史と発展過程、法制度を理解する。社会福祉士としての支援について理解する	1. 高齢者の特徴をふまえ、高齢者とその家族を取り巻く社会環境について説明できる		○													○
		2. 高齢者福祉の歴史と発展過程、法制度について説明できる		○													○
		3. 社会福祉士としての支援について説明できる		○											○		○
児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）	現代社会の子どもの生活実態を、子どもと子どもをとり巻く環境の視点からとらえて把握する。また、そのなかで生じている社会問題や生活上の困難について、児童・家庭福祉領域においてどのような理念・考え方のもと、どのような支援がなされているのかについて学んでいく	1. 現代社会における子どもの生活実態を知り，その背景を多面的に理解する		○									○				○
		2. 子ども家庭福祉の基盤となる理念・価値を学ぶ		○									○	○			
		3. 子ども家庭福祉における具体的な制度・サービスなどを知り，それらの活用と子どもや家庭への支援について検討する		○									○				○
生活保護制度	公的扶助としての生活保護制度の仕組みと問題を理解できる	1. 日本の社会保障制度の中核としての生活保護制度の重要性を認識できる		○													○
		2. 生活保護制度の概要を説明できる		○													○
		3. 貧困による生活課題に対して社会福祉士としての支援の在り方を説明できる		○										○	○		
権利擁護を支える法制度	ソーシャルワークにおける法との関わりを学び、成年後見制度と権利擁護活動の実際を理解する 。ソーシャルワークにおける成年後見制度と法（憲法、民法、行政法）との関わりについて理解する。 意志表出が困難な者に対する権利擁護活動の実際について理解を深める	1. ソーシャルワーカーとして必要な成年後見制度、日常生活自立支援事業の知識を身につける		○										○			
		2. 権利擁護活動の実際について理解する		○										○			
		3. 憲法、民法、行政法といった社会福祉に関する法の理解を深める		○													○
刑事司法と福祉	刑事司法の動向と制度を理解する。刑事司法の関係機関の役割について理解する。社会福祉士および精神保健福祉士の役割について理解する	1. 刑事司法の動向と制度について説明できる		○										○			
		2. 刑事司法の関係機関の役割について説明できる		○										○			
		3. 刑事司法における社会福祉士および精神保健福祉士の役割について説明できる		○											○		
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスを提供する組織や団体の概要を理解する。福祉サービスの組織の経営の視点と方法を理解する。福祉サービスの組織の基礎理論、労働者の管理、福祉人材マネジメントについて理解する	1. 福祉サービスを提供する組織や団体の概要について説明できる		○													○
		2. 福祉サービスの組織の経営の視点と方法について説明できる		○													○
		3. 福祉サービスの組織の基礎理論、労働者の管理、福祉人材マネジメントについて説明できる		○													○
社会的養護Ⅰ	現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷を押さえたうえで、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本を理解する。また、社会的養護の制度・実施体系等、対象・形態、関係する専門職等の理解も目指す。社会的養護の現状と課題全般も把握する。	1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について学ぶ		○									○				○
		2. 社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解する		○										○			○
		3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解する		○									○				○
発達障害と制度	発達障害の基本的な知識と、発達障害者（児）を支援するために必要な制度、方法を理解する	1. 発達障害の基本的な知識が説明できる		○							○					○	
		2. 発達障害者（児）支援に必要な制度を説明できる		○							○					○	
		3. 発達障害者（児）への支援方法を説明できる		○							○					○	
社会福祉学特講Ⅰ	個々の多様な生活場面において、社会福祉がどのような関わりをもつのかを具体的な事象を通じて理解ができる	1. 様々な社会・生活場面において、社会福祉との関係を理解できる	○	○	○												
		2. 各社会福祉サービスの目的と、実際に利用する際の機関や手続き方法について理解できる	○	○	○												
		3. 関心のある具体的事例について、社会福祉専門職として必要な知識と技術とは何かを理解できる	○	○	○												
社会福祉学特講Ⅱ	個々の多様な生活場面において、社会福祉がどのような関わりをもつのかを具体的な事象を通じて理解ができる	1. 身近な地域社会で起きている福祉的事象を俯瞰できる	○	○	○												
		2. ニーズ把握とアセスメントの力を養い、それぞれの支援について検討できる	○	○	○												
		3. 地域もふくめた総合的包括的支援のあり方を考察できる	○	○	○												
社会福祉学特講Ⅲ	個々の多様な生活場面において、社会福祉がどのような関わりをもつのかを具体的な事象を通じて理解ができる	1. 他職種連携が求められる場面とはどのような場面なのか、他領域と社会福祉との関係を理解できる	○	○	○												
		2. 具体的な事例検討を通じて、福祉と多職種との連携協働を理解する	○	○	○												
		3. 他職種連携の具体的事例を通して、社会福祉専門職として必要な知識と技術を深める	○	○	○												
社会福祉学特講Ⅳ	個々の多様な生活場面において、社会福祉がどのような関わりをもつのかを具体的な事象を通じて理解ができる。また、国家試験合格への意欲を高める	1. 様々な社会・生活場面において、社会福祉との関係を理解できる	○	○	○												
		2. 各社会福祉サービスの目的と、実際に利用する際の機関や手続き方法について理解できる	○	○	○												
		3. 関心のある具体的事例について、社会福祉専門職として必要な知識と技術とは何かを理解できる	○	○	○												
精神医学と精神医療Ⅰ	精神疾患の主な症状、経過、治療法を理解する。精神医療と人権擁護の歴史を理解し、精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割を理解する	1. 精神医学の歴史、社会的構造について説明できる		○										○			
		2. 精神医学と精神保健福祉法制度の連携と実際について説明できる		○											○		
		3. 精神病院と精神保健福祉施設や精神保健福祉士の役割について説明できる		○											○		
精神医学と精神治療Ⅱ	精神保健福祉法等に関する法制度の概要と課題の理解、制度に規定される精神保健福祉士の役割について理解する。生活保護制度、生活困窮者支援制度に関する精神保健福祉士の役割を理解する。障害者に関する制度とその限界や課題を理解する	1. 精神病院などでのチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について説明できる		○											○		○
		2. 地域の多職種連携における精神保健福祉士の役割について説明できる		○											○		○
		3. 地域の多機関連携における精神保健福祉士の役割について説明できる		○											○		○
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	現代の精神保健分野の動向と課題を理解する。精神保健の基本的な考え方を理解する。生活環境ごとの精神保健福祉士の役割を理解する。	1. 現代の精神保健分野の動向と課題について説明できる		○											○		
		2. 精神保健の基本的な考え方について説明できる		○											○		
		3. 生活環境ごとの精神保健福祉士の役割について説明できる		○											○		
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	高齢者の特徴をふまえ、高齢者とその家族を取り巻く社会環境について理解する。高齢者福祉の歴史と発展過程、法制度を理解する。社会福祉士としての支援について理解する	1. 専門機関・専門職の連携について説明できる		○										○			○
		2. 精神保健の保持・増進、発生予防の支援について説明できる		○													○
		3. 海外の精神保健の現状と対策を説明できる		○													○
精神保健福祉の原理Ⅰ	障害者福祉の基本的枠組みを理解する。精神障害者の定義、構造的な理解、生活実態を理解する。精神疾患や精神障害を持つ当事者に対する価値観を体得する	1. 障害者福祉の基本的枠組みについて説明できる		○										○			○
		2. 精神障害者の定義、構造的な理解、生活実態について説明できる		○	○								○				
		3. 精神疾患や精神障害を持つ当事者に対する価値観について説明できる									○		○	○			
精神保健福祉の原理Ⅱ	精神保健福祉士の存在意義と職業的アイデンティティを理解する。精神保健福祉士の倫理綱領に基づく職責を理解する。精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する	1. 精神保健福祉士の存在意義と職業的アイデンティティについて説明できる												○	○	○	
		2. 精神保健福祉士の倫理綱領に基づく職責について説明できる											○			○	○
		3. 精神保健福祉士の職域と業務特性について説明できる		○									○				○
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を理解する。その家族の支援について理解する。多職種・多機関との連携方法と精神保健福祉士の役割を理解する	1. 精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程について説明できる		○										○	○		
		2. その家族の支援について説明できる		○										○	○		
		3. 多職種・多機関との連携方法と精神保健福祉士の役割について説明できる		○													○

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号 ○：DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ	組織運営管理、組織介入、組織活動の展開について理解する。個別支援からソーシャルアクションまでの展開過程を理解する。他分野での精神保健福祉士の実践を理解する	1. 組織運営管理、組織介入、組織活動の展開について説明できる		○											○		
		2. 個別支援からソーシャルアクションまでの展開過程について説明できる		○													○
		3. 他分野での精神保健福祉士の実践について説明できる		○											○		
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーションの概念、理論や知識を援助場面で活用できる。そこでの精神保健福祉士の役割を理解する。	1. 精神障害リハビリテーションの歴史、経緯について理解する		○										○			
		2. 精神障害リハビリテーションの知識と援助方法ついて説明できる		○											○		
		3. 精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割について説明できる		○											○		
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ	ソーシャルワークの論理的な判断能力を養う。分野横断的な総合的かつ包括的な支援のについて実践的に理解する。	1. ソーシャルワークの論理的な判断能力について説明できる		○										○	○		
		2. 分野横断的な総合的かつ包括的な支援について説明できる		○										○	○		
		3. 分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践できる		○										○	○		
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	地域アセスメントや評価の仕組みを実践的に理解する。ミクロ・メゾ・マクロの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する	1地域アセスメントや評価の仕組みを実践できる		○										○	○		
		2. ミクロ・メゾ・マクロの対象と展開過程を説明できる		○										○	○		
		3. 実践モデルとアプローチについて実践できる		○											○		○
社会的養護Ⅱ	子どもの理解を踏まえ、社会的養護の基礎的な内容を具体的に理解する。また、施設養護と家庭養護の実際、計画・記録・自己評価の実際、相談援助の方法・技術について、そして、子ども虐待防止と家庭支援について理解する。	1. 社会的養護における児童の権利擁護や保育士などの倫理について具体的に学ぶ		○										○			○
		2. 施設養護及び他の社会的養護の実際について学ぶ		○										○			○
		3. 個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活の支援、治療的支援、自立支援等の内容について具体的に学ぶ		○										○			○
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ	実習で体験した事例について、研究方法を理解する。スーパービジョンについて体験的に理解する。	1. 実習で体験した事例をもとに事例検討を行い、その意義や方法が説明できる		○										○			○
		2. 事例研究が説明できる		○										○			○
		3. 実践の質の向上を図るスーパービジョンを体験し説明できる		○										○			○
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	ソーシャルワーク実習に向けて実習の意義を理解する。社会福祉士として求められる役割や専門職の姿勢について理解する	1. ソーシャルワーク実習の意義・目的について説明できる		○										○	○		
		2. 社会福祉士に求められる役割を説明できる		○										○	○		
		3. 価値と理論に基づく専門職としての姿勢について説明できる		○									○	○			
ソーシャルワーク実習指導ⅡA	ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する	1. ソーシャルワークに係る知識について説明できる		○										○			○
		2. ソーシャルワークに係る技術について説明できる		○										○			○
		3. ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を説明できる		○										○			○
ソーシャルワーク実習指導ⅡB	実習で得た体験や援助活動を専門的援助技術として理論化し総合的な能力を涵養する	1. 実習で得た体験や援助活動を専門的援助技術として理論化について説明できる		○										○			○
		2. 総合的な能力について説明できる		○										○			○
		3. ソーシャルワーク実習の内容をまとめ、発表できる		○										○			○
ソーシャルワーク実習A	社会福祉士としての支援を理解し支援を必要とする人や地域の状況を理解し、社会資源等を活用した支援計画の作成、実施、評価について理解する	1. 社会福祉士としての支援について説明できる		○										○			○
		2. 支援を必要とする人や地域の状況について説明できる		○										○			○
		3. 社会資源等を活用した支援計画の作成、実施、評価について説明できる		○										○			○
ソーシャルワーク実習B	施設・機関等が地域の中で果たす役割について実践的に理解する。総合的かつ包括的な支援における多職種連携、地域住民との連携の具体的な在り方について実践的に理解する	1. 施設・機関等が地域の中で果たす役割について実践できる		○										○			○
		2. 総合的かつ包括的な支援における多職種連携の具体的な在り方について実践できる		○										○			○
		3. 総合的かつ包括的な支援における地域住民との連携の具体的な在り方について実践できる		○										○			○
精神保健福祉演習Ⅰ	ソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性の基礎を獲得する	1. 精神保健福祉場面における対人援助の理論について理解する		○										○			○
		2. 精神保健福祉援助場面における技術を習得する		○											○		○
		3. 精神保健福祉援助場面において適切な援助関係が構築できる		○										○			○
精神保健福祉演習Ⅱ	精神障害や精神疾患の課題解決に向けて、制度やサービスを活用できるようになる。本人を中心としたチーム連携での援助をコーディネートできるようになる	1. Ⅰで習得した知識・技術を活用して、具体的事例で対応する		○											○		○
		2. 臨床場面おいての援助事例を理解する		○											○		○
		3. 精神保健福祉士としての援助場面における価値・倫理をまとめる		○										○			○
精神保健福祉演習Ⅲ	精神保健福祉士として政策や制度、関係行政や地域住民に働きかられるようになる。職業アイデンティティの構築ができる	1. 共生社会に向けた精神保健福祉士の役割について説明できる		○											○		○
		2. 精神保健福祉士として政策や制度、関係行政や地域住民に働き賭けについて説明できる		○											○		○
		3. 職業アイデンティティの構築について説明できる		○										○	○		
精神保健福祉実習指導Ⅰ	精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解、学習する。精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得する。 実習での体験、援助活動を、専門的援助技術として概念化、理論化し体系立てて考察していく能力を涵養する	1. 実習施設の機能と精神保健福祉援助における役割について理解する		○										○	○		
		2. 対人援助場面における対応に必要な知識・技術の確認		○										○			○
		3. 実習施設について、具体的資料などから理解を深める		○					○						○		
精神保健福祉実習指導Ⅱ	精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解、学習する。精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得する。 実習での体験、援助活動を、専門的援助技術として概念化、理論化し体系立てて考察していく能力を涵養する	1. 実習施設の機能と精神保健福祉援助における役割について理解する		○										○	○		
		2. 対人援助場面における対応に必要な知識・技術の確認		○										○			○
		3. 実習施設について、具体的資料などから理解を深める		○	○										○		
精神保健福祉実習A	精神保健福祉士が知識と技術を生かして、専門職として役割を果たすには何が重要なのかを現場から学び、さら現場精神保健福祉士として必要な知識および技術・関連知識を、現場体験を通して具体的に理解を深め習得することを目的とする	1. 実習先の利用者や職員との基本的な関係を築く		○										○			○
		2. 実習先の利用者の課題を理解する		○									○				○
		3. 実習先の精神保健福祉士の役割を理解する		○										○			○
精神保健福祉実習B	精神保健福祉士が知識と技術を生かして、専門職として役割を果たすには何が重要なのかを現場から学び、さら現場精神保健福祉士として必要な知識および技術・関連知識を、現場体験を通して具体的に理解を深め習得することを目的とする	1. 実習先の利用者に対して個別支援計画を策定する		○										○			○
		2. 実習先での他職種間との連携、地域との関係について理解する		○													○
		3. 実習計画書にあげた実習目的を達成する		○										○			○